

磯子区社協からのお知らせ

善意銀行 ～あたたかいご寄付をありがとうございます～
令和5年1月1日～12月31日(順不同、敬称略)

<金銭>【個人】太田 明(計2件)/匿名(7名)
【団体】中央労働金庫杉田支店推進幹事会/労働協なぎさ支部
岡村西部連合自治会子ども会/横浜磯子ロータリークラブ
市川特殊硝子 株式会社 代表 市川和孝/株式会社 清光社
IH労働組合連合会横浜支部 ジャパンマリンユナイテッド横浜労働組合
神奈川土建一般労働組合 南横浜支部/磯子区子ども会連絡協議会
おさいほうボランティアピンクッション

<物品>【個人】杉本 遼吉/須藤 直美/鈴木 悦子/大須賀 孝昭(計2件)
古見 妙子/石橋 由紀/匿名(8名)
【団体】三親住設 株式会社(計12件)/ザシティ新杉田店(計17件)
東芝労働組合 横浜支部/東亜建設工業 株式会社 横浜支店
キオクシア労働組合 大船支部(計2件)/パシフィック磯子自治会
SOMPOケア ラヴィーレ洋光台/一般社団法人バンクフォースマイルズ
横浜信用金庫 理事長 大前茂/岡村地区社会福祉協議会
一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユー財団

～ご寄付の方法について～

磯子区社会福祉協議会へお持ちいただく、ご連絡の上、下記の銀行口座にお振込ください。なお、確定申告などによって、所得税法及び地方税法上の寄付金控除をつけることができます。

横浜銀行 磯子支店(341) (普通) 6079872
名義:社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会 善意銀行
物品についてはお問い合わせください。

賛助会員募集のご案内

「賛助会員」は、社協活動をより充実させていくため、趣旨にご賛同いただける方に財政的支援をお願いしている会員制度です。いただいた賛助会費は、区内の福祉保健活動に役立てられています。

- 賛助会員会費
＜個人＞年額 1口 1,000円 ＜法人＞年額 1口 10,000円
- 入会方法・手続き
郵便振替 口座番号:00240-9-77406
※お問い合わせいただければ振込用紙をお送りいたします。
また、直接磯子区社協窓口でもお受けいたします。

～会員特典～

- 各種情報誌やお知らせを通じて、様々な福祉情報をお届けします。
- 提携、協働事業等を通じた活動支援・運営支援を行っています。

●ご協力ありがとうございました!●

令和5年1月1日～12月31日(順不同、敬称略)

【団体】シティー開発 株式会社/東京液化酸素 株式会社/株式会社 メイク
株式会社 八雲堂/横浜セレモ 株式会社/有限会社 昌泳
高栄企業 株式会社/医療法人財団 至誠会 たきもとクリニック
三親住設 株式会社/佐藤技工 株式会社/日本環境技術 株式会社
特定非営利活動法人 さざなみ会/株式会社 サカエテック
特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブたすけあい磯子
医療法人財団 蒼風会/株式会社 カネチュー/有限会社 金子油店
SOMPOケア ラヴィーレ洋光台/株式会社 山本商会
洋光台商事 株式会社/匿名7団体

【個人】羽田 大作/小川 貴之/山田 義彦/新井 敏二郎/匿名4名

福祉いそこの音声データを作成しています!

視覚障害者の方々へ、録音ボランティアグループ「アマリリスの会」のみなさんが「福祉いそこ」の音声データの作成をしています。ご希望の方は無償で配布いたしますので、磯子区社会福祉協議会(045-751-0739)までご連絡ください。

◆愛読者アンケート◆

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で図書カードをプレゼントいたします。応募は、はがき・FAX・Eメール(info@isoshakyo.com)で、



- ①郵便番号・住所・氏名・TEL・性別・年齢
- ②「福祉いそこ」を手に入れた場所
- ③ご意見・ご感想、をご記入の上、

4月30日(必着)までに、磯子区社会福祉協議会「アンケート係」へお送りください。当選は、図書カードの発送をもって代えさせていただきます。

みんなの意見が聞かれています!

少しでもご紹介します!!

- いつも楽しく購読させていただいております。本誌を読むと、色々な活動やサービスを知ることができ勉強になります。ボランティア活動の皆さんの写真に元気をもらいます。この次の発行も楽しみにお待ちしております!
- 社会福祉協議会がどのような活動をしているか具体的に少しわかりました。
- 磯子区各地域の活動を知ること、新たな発見ができました。いつなときも、「自助 共助 公助」の必要性をあらためて感じました。
- 地域の情報いつもありがとうございます。何かあったとき、相談できる所を知っているのは、とても安心できます。

等

貴重なご意見ご感想ありがとうございました!!

令和5年度 広報紙編集委員

委員長●古知屋 多恵子

委員●鳥海 俊一/篠塚 妙子/小島 美恵子/岡田 はつみ/沖園 典子
松島 勝美/山口 一江/工藤 昭子/岩田 和子/猪越 重吉
吉澤 幸治/伊藤 春男/水越 尚登/森 佳代子

次号(第79号)は2025年3月発行予定です

磯子区社協の <https://twitter.com/isogokushakyo>
X(旧Twitter) を見てください!
アカウント名は 横浜市磯子区 社会福祉協議会



幸せ♡支えの街 福祉いそこ

令和6年3月発行

Vol.78

編集●広報紙編集委員会

発行●社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会

〒235-0016 磯子区磯子3-1-41 磯子センター5F

TEL 045-751-0739 FAX 045-751-8608

E-mail info@isoshakyo.com

URL <https://www.isoshakyo.com/>



福祉クラブ生協「ららむーぶ磯子」では、共同募金の助成金により福祉車両や自家用車で、高齢者や障害のある方の外出のお手伝いをする、ケア付お出かけサービスを行っています。

特集 赤い羽根共同募金

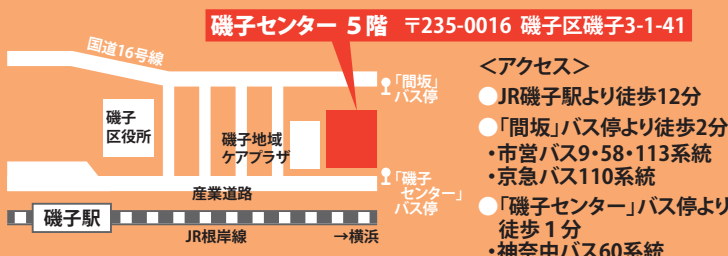
～じぶんの町を良くするしくみ～

ひとりひとり大切なお金。そのお金に「誰かの助けになりたい」という気持ちがこもって十人、百人、千人と集まれば、大きな力に変わります。地域福祉を推進するために全国各地で募金活動を展開している赤い羽根共同募金についてご紹介いたします。

「滝頭・岡村地区 愛のお弁当」では、高齢者へ届けるお弁当の材料調達・調理・配食と見守りを行っています。運営費の一部を共同募金の助成金を活用しています。



幸せ♡支えの街 福祉いそこ Vol.78



- <アクセス>
- JR磯子駅より徒歩12分
 - 「間坂」バス停より徒歩2分
 - 市営バス9・58・113系統
 - 京急バス110系統
 - 「磯子センター」バス停より徒歩1分
 - 神奈中バス60系統

磯子区社会福祉協議会(磯子区社協)は、社会福祉法第109条に基づいて、「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります。」を合言葉に、身近な福祉課題について地域の皆さまと一緒に考え、取組をすすめています。

開館時間	磯子区社会福祉協議会 月～金 9:00～17:00	磯子区ボランティアセンター 月～土 9:00～17:00
	磯子区社協あんしんセンター 月～金 9:00～17:00 専用TEL:045-751-1567	磯子区移動情報センター 月～金 9:00～17:00 専用TEL:045-759-4005
	磯子区福祉保健活動拠点 月～土 9:00～21:00 ※ただし第4月曜日は17時まで 日・祝 9:00～17:00 (休日の場合はその翌日)	

※12月29日～1月3日は休館 ※天災等により開館日や時間等が変更になる場合があります

～じぶんの町を良くするしくみ～



街頭募金運動への激励の様子(10月1日実施)

赤い羽根共同募金とは？

<募金実施期間> 10月1日～3月31日

共同募金は民間が行う寄付募集として毎年、厚生労働大臣の告示により実施する“たすけあい”の運動です。

昭和22年戦後復興の一助となることを目的として始まった共同募金は、現在ではさまざまな福祉活動を資金面で支援することを目的として実施されています。また、災害時には、災害ボランティア活動にも重点的に支援を行っています。

皆さまの善意を適正に取り扱うために募金の使いみちなどが「社会福祉法」で定められており、計画的に募金活動を行う必要があるため、目安額や目標額の設定をさせていただいております。しかしながら、ご寄付は一人一人の自由意思に基づくものなので、目安額等はあくまでも目安にすぎません。

年末たすけあい募金とは？ <募金実施期間> 12月1日～12月31日

社会的孤立状態にあり支援を必要としている方をはじめ、地域で暮らす誰もが安心して年末の時期を過ごすことができるように、と始まった募金です。

地域の誰もが安心して、あたたかいお正月を迎えることができるよう、**共同募金運動の一環**として、地域住民やボランティア・NPO団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体が協力のもと、地域のさまざまな福祉活動を支援するために実施しています。

令和5年度 募金実績 (令和5年12月末現在)

・赤い羽根募金 8,543,721円
・年末たすけあい募金 6,025,672円
・街頭募金 690,167円
総額 15,259,560円

10/1～11/30の期間で、街頭募金を全11回実施。区内ボランティア団体や民生委員児童委員協議会、作業所や学校、ボーイスカウト等の多くのみなさまにご協力いただき実施しました。皆さまからの温かいご支援、ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございます。



共同募金豆知識

～赤い羽根の由来～



共同募金のシンボルとして親しまれている“赤い羽根”が、共同募金運動のなかで登場したのは、運動開始後2年目の昭和23年からでした。当時、街頭募金の寄付済みの印として何を採用するか検討が行われました。同時期にアメリカでも社会福祉のための募金活動(United Way)が行われ、水鳥の羽根を赤く染めて使っていることにヒントを得て、日本でも鶏の羽根を使うことになりました。

赤い羽根共同募金は、身近な地域の福祉活動を支えています！

～赤い羽根共同募金寄付金を財源とした活動の紹介～

高齢者支援

高齢者向けサロン、会食・配食サービス、送迎サービス など



障害者支援

福祉施設へ車両費助成、障害者作業所支援、障害児の余暇活動 など



地域福祉の支援

三世代交流イベント、在日外国人の支援、悩み事相談 など



子育て支援

福祉施設の整備、子育てサロン、絵本の読み聞かせ活動 など



ボランティア支援

ボランティア団体支援、ボランティア育成講座、福祉教育 など



災害時の支援

地域の防災活動、災害等準備金、災害義援金 など

区内助成金配分団体から寄付者への“ありがとうメッセージ”

ありがとう！



利用者は磯子区及び近隣の要介護の方や、障害のある方で、送迎の足になりながら、安心安全な日々を送れるように努めています。配分金を有効な事業活動費として活用し、お陰様で年々利用者が増し、活動の充実につながっています。

皆さまの活動に対するご理解とご好意に深く感謝しております。

週に1回地域の一人暮らしや夫婦のみの高齢者に安否確認も兼ねて手作りのお弁当を届けています。配分金のおかげでお弁当を配達したり、食材を買うためのガソリン代を補助することができます。

高齢者の方が多く、手助けをする家族の年齢も高くなり、介護保険では補えない部分の依頼に対応しているので大変助かっています。費用の面でも利用される方々から家計に負担が少ないと喜ばれています。

高齢者、障害者等要援護者が住み慣れた地域で安心して暮らせる様、在宅支援の活動に対して、ご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

地域の高齢者、障害者等の昼食配食サービスにご支援ありがとうございます。利用者さんにも赤い羽根募金からの支援を伝えるとともに、私達も募金活動に協力しております。

地区社協だより

各地区とも、幅広い世代をターゲットに活動は広がっています。
是非、地域活動にご参加ください!



01 根岸地区

だれでも来やすい場所「縁側」

2011年3月11日に東日本大震災が起きた時、地域を回り怖さを共有したことで何かをしなくてはと思い、気軽に集まれる場所「縁側」を始めました。どんなことをしようかと先輩の民生委員に相談して毎週火曜日に行うことにしました。

毎月、第1週目体操ストレッチ、第2週目ボッチャ、第3週目体操ストレッチ、第4週目アロマ、第5週目はいろいろなことを行っています。体操ストレッチは講師の方が、ボッチャはスポーツ推進委員が、アロマはボランティアでアロマセラピストが協力してくれています。常時14名~20名が参加しています。たまに食事が出たりして皆さんが本当に楽しんでくれています。



アロマセラピーの様子

02 滝頭地区

こどもすまいる

2018年から2023年末まで、滝頭地域ケアプラザを会場に『こどもすまいる食堂』の活動をしていました。

2023年5月からは毎月第二木曜日にこどもたちの居場所づくり事業として『こどもすまいるルーム』を滝頭連合町内会館(滝頭公園横)にて開催、好きな絵を描いて作るブラバンキーホルダーは毎回好評です。参加することも子どもたちに楽しんでもらえるようなねんど細工やちぎり絵などを計画しています。ぜひ親子で遊びにお出かけください。



来場した幼稚園児の作品

03 岡村地区

老若男女が楽しめる居場所

岡村泉谷地区で空家を活用した居場所「みんなの広場マグネット」が元気に活動しています。地域食堂、折り紙教室、歌声広場、マグネット祭りなど、小さなお子さんや年配の方まで幅広い年齢層の憩いの場となっております。運営に協力して下さる地域の方たちに支えられ、参加者が少しずつ増えてきました。皆で盛り上げていきましょう。主催者の高橋さんから一言「地域が一つになるように、老若男女が楽しめる居場所です。宜しくお願いいたします。」



04 磯子地区

ふれあい運動会

磯子地区では、5月14日に一人暮らしの高齢者と障害のある人が共に競技に参加して一緒に同じゲームに挑戦する「ふれあい運動会」を開催しました。久しぶりの磯子センター体育館で、風船割りやパン釣り競技に参加されて、スポーツをして体を動かすことの気持ち良さを感じていただけたのではないのでしょうか。今年も5月に開催予定です。

又「ふれあい体操」も楽しく活動しています。太極拳を盆踊り風にアレンジした「盆ダンス」は毎月第3土曜日10時から磯子地域ケアプラザで盛り上がっています。区内の人ならどなたでも参加いただけますのでお待ちしております。



力いっぱいぶつけてみても、なかなか紙風船が割れません。

05 汐見台地区

活気が戻りつつある汐見台

コロナ禍自粛も緩和され、地区の行事も少しずつ開催されるようになりました。救命救急講習会・見守り員情報交換会・夏祭り・夏休みラジオ体操、これから普通に、色々な行事が出来るように目指していければと思っています。



07 杉田地区

夏まつり

「源義家公が当宮を鎮祭してより960年の記念の年であります。」2023年8月に開催された杉田八幡宮夏まつりのナレーションは、まるで大河ドラマを思い起こさせる神々しい場面でした。

杉田八幡宮に杉田南部から子ども神輿担ぎ手23名が参加。どの子も初めての体験に真剣な面持ちです。「さあ出発。」ワッショイワッショイと声があがり子どもたちは一気に担ぐ。杉田商店街が大舞台となり、一年生も上級生を見習い力を込めました。ワッショイワッショイ! 法被姿が馴染んだ頃、表情がほぐれどの子も満足感でいい顔をしていました。

お神輿を担いだ子ども達のいい笑顔です。



06 屏風ヶ浦地区

スタート! 屏風ヶ浦地区社協

令和5年度より新たな組織づくりをし、10月14日に総会を行いました。

新役員は7名、会員は評議員という名前に変更し、10団体の小さな地区社協でスタートしました。地区内の福祉(普段の暮らしの幸せ)について、皆さまと話し合いながら取り組んでまいります。



「ふだんのくらしのしあわせ」

08 上笹下地区

子育て支援事業 子育てひろば「にこにこ」

毎月第1火曜日栗木町内会館で「にこにこ」、第2火曜日上笹下地域ケアプラザで「にこにこII」を開催しています。

地区社協組織団体員がスタッフを務め、未就園児とその保護者の皆さんと楽しい時間を過ごしています。

広い会場で気兼ねなく、ゆったり、のびのびと。お出かけ場所のひとつになって欲しいなと願い活動しています。



問い合わせは、上笹下地域ケアプラザ TEL:769-0240 まで

09 洋光台地区

4年ぶりの洋光台地区健民祭

2023年10月に第58回洋光台地区健民祭が、中学生のボランティアの協力の下、実行委員会の主催により行われました。4年ぶりの大会に障害者の方も地域の催しと一緒に参加できる事を喜んでおりました。徒競走や太公望にも積極的に参加し、地区社協もそんな皆さんと一緒に大会に参加でき笑顔が溢れる一日でした。次回も是非参加したいと楽しみにしている様子でした。



ボランティアグループ紹介

本会ボランティア・市民活動関係分科会の団体をご紹介します。
今回は、音声訳、手話、精神保健等の障害分野で活躍されている団体と、住民の近くで暮らしを支えてくださるボランティア団体のご紹介です。

磯子区録音ボランティアアマリリスの会

主に磯子区在住の視覚障害者の方々に音声訳・録音したCDを作成し、お届けする活動を行っています。現在会員数は20名。10年以上活動を続けているベテラン会員から、昨年度入会したばかりの新人会員まで皆で力を合わせて、日々活動に取り組んでいます。

ふれあいサークル「かめ」

手話は聴覚障害者の言語であり、手話により相互理解と情報提供や交流も大切に活動しています。現在利用している施設の定員が35名のところ、会員全員と聴覚障害者で50名以上となるので、午前・午後の2グループに分けて活動している状況です。ふれあいサークル「かめ」は1983年11月に発足して、40年間地域の人や小中学校の手話講座で聴覚障害者の困ること等を紹介しています。

手話サークル 海

サークルができたのは1980年。常に聞こえない人と活動を共にしてきました。夜のサークルという事もあり、仕事帰りに参加する方も多くいます。

「手話」という言葉を広めるとともに、障害者福祉向上の為に活動を行っているサークルです。

磯子かたつむりの会

「磯子かたつむりの会」は会員20名弱で、送迎活動を主とするグループでしたが、諸情勢の変化やコロナ問題の発生に伴い、現在送迎活動は撤退となりました。

その後、身近なボランティア（ふれあい活動）や、ボランティアセンターから依頼された各種ボランティア、に軸足を移して活動を継続しており、年間活動実績は500回超え、と活発に活動を行っております。

また、区社協の各種イベント対応、会員同士の互助活動、グラウンドゴルフ、などなど行っている、元気なお年寄りボランティアグループです。

磯子精ボ会

精神保健福祉ボランティア入門講座を修了した仲間と、平成5年に発足し、「こころの病気」を持った方を支援し、地域で共に暮らせることを目指して活動しているボランティアグループです。

会員は、60代を主要とした男女12名です。活動内容は、毎週木曜日に磯子福祉保健センター（磯子区役所）で開催される「生活教室・すみれ会」の各種プログラム（スポーツ・音楽鑑賞・書道・ポッチャ・カラオケ等）をメンバーさんと共に行っております。

また、毎月2回、地域活動支援センター「スペース杉田」で給食支援（昼食）のサービスや、毎週月曜日のウォーキング活動により、皆様と楽しく交流しております。更に、月に一回、相談業務「たまり場サロン」として、カウンセラーが対応します。

令和6年度「磯子区ふれあい助成金」「いそごサロン事業助成金」の募集について

申込書や手引きは3月中旬ごろ磯子区社協のホームページ（<https://www.isoshakyo.com>）に掲載する予定です。

ダウンロードや印刷ができない団体には郵送いたしますので、ご連絡ください。



詳しくはこちら

申請は4月10日(水)～4月26日(金)に郵送かメールで提出をお願いします。（当日消印有効。先着順ではありません）

問合せ先 磯子区社会福祉協議会 TEL: 045-751-0739 <問合せ時間> 平日 9:00～17:00

企業の地域貢献活動

動物病院 × 区社協

「いそまる」推進中

企業によるゆるやかな見守りネットワーク事業「いそまる」は、7月26日に「アン動物病院」（根岸地区）と協定締結を行いました。動物病院にペットの治療で訪れる飼育者に気がかりな様子があった場合に本会に相談いただき、必要な支援機関につなげていきます。

成田院長は、「ペットの適正飼育ができなくなった時に動物のことは動物病院で協力できるが、それだけでは解決できないことがある。それは、人の問題だ。福祉とつながることで解決できることがある。」と話をされていたのが印象的でした。今後も、区内の企業と連携し、ゆるやかな見守り活動を推進していきます。

概要 見守りネットワーク事業「いそまる」とは

令和4年度からスタートした、企業と連携した見守りの仕組みです。従業員が日々の業務等で声かけやあいさつなどのゆるやかな見守りを行います。気がかりな様子や何らかの異変を見かけた場合に、区社協に相談し、区社協は支援機関等に紹介をします。また、協力事業者間でネットワーク作りも行い、情報共有や研修会等を開催します。



<右より> アン動物病院 愛玩動物看護師 佐藤 由紀子氏
獣医師 成田 まどか氏
磯子区社会福祉協議会 事務局長 伊藤 学/事務局次長 葉山 知則

令和5年度『いそごふれあいフェスティバル』実施報告

晴天の中、4年ぶりに『いそごふれあいフェスティバル』を開催しました。今回は、磯子まつりとの同日開催となり、大勢の方にお越しいただきました。

磯子センターでは様々な催しが行われ、体育館では、迫力のあるステージ発表や文化・創作活動の作品展示・体験ブースが実施され、36団体が参加しました。ロビーでは3団体によるお茶・カフェによる癒しのおもてなしをしていただきました。

3階では、日頃より福祉保健活動にご尽力いただいている10団体による福祉体験及び展示コーナーを設置し、福祉活動の啓発を行いました。駐車場では学生によるワークショップや福祉車両展示、キッチンカーの誘致などにより、にぎやかで楽しい祭りを盛り上げてもらいました。磯子地域ケアプラザにおいては、お子さま向けのイベントを開催し、縁日・展示・発表・相談など多岐にわたり、来場されたお子さまの笑顔が見られました。



また、クイズ&体験ラリーの景品には企業から協賛品を提供していただきました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

<日時> 令和5年9月24日(日) 10:00～15:00
<会場> 磯子センター・磯子地域ケアプラザ
<入場者延べ人数> 約7,200名
<協賛企業> ウエイストヨタ神奈川株式会社/トヨタハートフルプラザ横浜/コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社/横浜市電保存館/横浜信用金庫（順不同・敬称略）
<主催> 磯子センター/磯子地域ケアプラザ/磯子区社会福祉協議会

